

高知工業高等専門学校専攻科 学生員 ○福井麻衣
高知工業高等専門学校 正員 勇 秀憲

1. はじめに

歴史が進むにつれて社会が大きく変化している中、人々の自然環境への意識が高まり、これによって、土木技術者にも新しい課題が課せられるようになった。橋梁構造物に影響を与える因子は、構造形式、色彩、視点場などがあり、それらと橋梁イメージとを結び付けることによって、景観設計の新たな指標を提案することができる。そこで、本研究はその基礎となる、代表的な美しい橋梁として知られる吊橋と斜張橋の橋梁イメージを明らかにするために、橋梁画像に対するSD アンケート調査を行う。その結果から、因子分析を用いて橋梁景観に及ぼすイメージ因子を調べる。

2. SDアンケート調査

本研究では、「BRIDGES IN JAPAN」¹⁾の橋梁画像の中から、吊橋を10橋、斜張橋を13橋取り出し対象橋梁23橋を対象とした。建設科目を専攻する18~20代の男女37名にSDアンケート調査を実実施した。評価言語の形容詞22対は、既往の研究結果²⁾³⁾と同じものを用いた。ただし、評価は5段階とした。

アンケート結果から、各橋梁の形容詞得点の高いものを取り出して、橋梁のイメージ特性を求めた(表1)。アンケート結果から、対象橋梁に対するイメージ形容詞の得点の絶対値の高い順に評価することにより、現代的で安定しているなど、各橋梁イメージを把握できた。

表1 橋梁のイメージ特性

橋梁名	平均点	イメージ				
1. 芦田川大橋	4.27	人工的な (0.234)	シャープな (1.189)	現代的な (1.000)	静的な (0.948)	調和している (0.784)
2. 荒川横断橋(仮称)	8.45	おちついた (0.784)	現代的な (0.514)	あたたかい (0.514)	美しい (0.432)	人工的な (0.405)
3. 坂東大橋	11.84	人工的な (1.162)	現代的な (1.027)	洗練された (0.973)	シャープな (0.919)	さわやかな (0.919)
4. キュン橋	-1.5	人工的な (1.324)	現代的な (0.784)	洗練された (0.757)	親しみにくい (0.556)	あわただしい (0.486)
5. 廣原大橋	12.5	調和している (1.087)	美しい (0.919)	さわやかな (0.882)	静的な (0.730)	明るい (0.703)
6. ちようちよ橋	-3.91	安全な (0.703)	地味な (0.703)	やさしい (0.514)	あたたかい (0.514)	弱い (0.488)
7. 遊羅大橋	-2.23	人工的な (1.459)	調和していない (1.054)	複雑な (1.000)	派手な (0.973)	あわただしい (0.865)
8. 内瀬大橋	13.68	人工的な (1.081)	シャープな (0.892)	現代的な (0.892)	さわやかな (0.892)	洗練された (0.892)
9. たつが大橋	4.77	安全な (0.649)	力強い (0.822)	安定した (0.595)	丈夫な (0.595)	平凡な (0.378)
10. 礼内唐柳大橋	2.41	現代的な (0.514)	簡素な (0.488)	洗練された (0.459)	おちついた (0.405)	さわやかな (0.378)
11. 尾瀬古仲橋	6.68	丈夫な (0.892)	柔和な (0.649)	おちついた (0.649)	あたたかい (0.649)	地味な (0.514)
12. 西方大橋	0.14	人工的な (0.588)	地味な (0.588)	さわやかな (0.432)	おちついた (0.432)	シャープな (0.405)
13. 鶴岡大橋	10.18	現代的な (0.703)	調和している (0.514)	調和している (0.459)	安定した (0.432)	丈夫な (0.432)
101. 大瀬吊橋	12.45	自然な (1.439)	調和している (1.405)	おちついた (1.182)	親しみやすい (1.094)	柔和な (1.000)
102. 永保大橋	11.23	現代的な (1.000)	人工的な (0.868)	美しい (0.812)	調和している (0.812)	丈夫な (0.785)
103. 大倉吊橋	1.34	人工的な (0.784)	華やかな (0.541)	現代的な (0.488)	柔和な (0.488)	調和していない (0.459)
104. 明神橋	18.18	自然な (1.459)	調和している (1.270)	調和している (1.270)	親しみやすい (1.243)	おちついた (1.054)
105. 上野スカイブリッジ	-4.9	シャープな (0.784)	人工的な (0.676)	明るい (0.569)	やさしい (0.569)	つめたい (0.541)
106. 旧島守発電所吊橋	3.86	自然な (0.784)	調和している (0.757)	柔和な (0.649)	地味な (0.622)	静かな (0.514)
107. 安芸灘大橋	13.18	人工的 (0.946)	美しい (0.919)	調和している (0.919)	明るい (0.892)	柔和な (0.838)
108. 外野橋	-2.55	地味な (0.703)	おちついた (0.703)	静的な (0.622)	丈夫な (0.432)	静かな (0.405)
109. 青島大橋	-2.88	シャープな (0.973)	人工的な (0.838)	洗練された (0.703)	美しい (0.649)	おちついた (0.568)
110. 白鳥大橋	7.68	現代的な (0.649)	明るい (0.595)	調和している (0.514)	華やか (0.488)	複雑な (0.488)

3. 因子分析

SD アンケート結果から因子分析を行い、評価言語対の相互関係を明らかにし、それらの相互関係を表す因子軸を求めた。各言語対の因子負荷量(表2)により、4つの因子：調和性(Harmony)因子、モダン(Modern)因子、活動性(Activity)因子、安定性(Stability)因子で整理できた。

各因子軸間の相互関係を表し、構造形式別、仮設形式別に示した。表1の各橋梁のイメージ特性を考慮して因子間の相互関係から各橋梁のイメージ構造を明らかにすることができる。

表2 因子負荷量

形容詞対	Harmony因子	Modern因子	Activity因子	Stability因子
背景と調和している・調和していない	0.9070	-0.2067	0.0632	0.1331
好き・嫌い	0.8870	-0.1994	0.1626	0.1308
美しい・醜い	0.8225	0.1528	0.4542	0.1196
おちついた・あわただしい	0.7982	-0.3713	-0.3993	0.0394
さわやかな・くどくどした	0.7737	0.4097	0.2805	0.2479
親しみやすい・親しみにくい	0.7505	-0.6305	0.0993	-0.0041
簡素な・複雑な	0.6687	0.1415	-0.4258	-0.0476
現代的な・伝統的な	-0.1241	0.8036	0.2913	0.3525
洗練された・平凡な	0.1091	0.6987	0.3843	0.0801
自然な・人工的な	0.3980	-0.8541	-0.1860	-0.1457
あたたかい・つめたい	0.0381	-0.9292	-0.0210	-0.0103
柔らかな・シャープな	-0.0654	-0.9750	-0.1133	-0.0166
陽気な・陰気な	0.2065	-0.0909	0.9081	0.2051
あざやかな・すんだ	0.1828	0.3193	0.9005	0.0937
華やかな・渋い	-0.1214	0.2203	0.8459	0.1331
明るい・暗い	0.2997	0.3257	0.8006	0.0723
派手な・地味な	-0.4291	0.4047	0.7591	0.0921
動的な・静的な	-0.5379	-0.3974	0.5662	-0.0665
丈夫な・やさしい	-0.0148	0.0044	0.0517	0.9437
安全な・危険な	0.1981	0.2001	0.0958	0.9323
力強い・弱々しい	-0.0585	0.0281	0.2875	0.9153
安定した・不安定な	0.4152	0.1726	-0.0025	0.8569

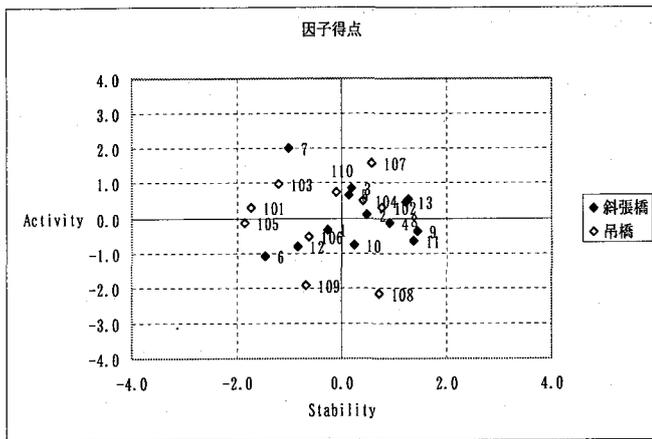


図1 Activity 因子と Stability 因子(構造形式別)

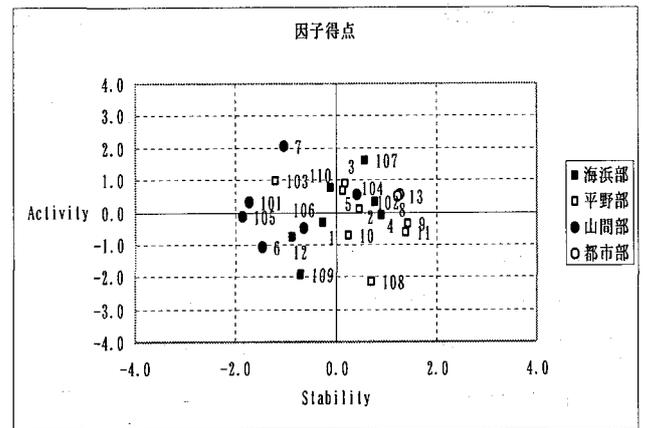


図2 Activity 因子と Stability 因子(仮設場所別)

図1、図2は、各橋梁の Activity 因子、Stability 因子の相互関係を示す。

図1を見ると、第一象限の橋梁 No.13(鵜飼い大橋)、No.107(安芸灘大橋)(写真1)などは Activity 因子、Stability 因子ともにプラスであることから、明るく動的で安定している橋といえる。

第二象限では橋梁 No.7(猫羅大橋)や No.103(大金吊橋)などは Activity 因子が高く、Stability 因子が低いことから動的であるが不安定だということがわかる。表1のイメージ特性ではこの不安定性は評価できていない。

第三象限では Activity 因子、Stability 因子の両方が低い、橋梁 No.6(ちょうちよ橋)や No.12(西方大橋)は暗く静的で、不安定な橋であるといえる。No.109(青馬大橋)は全体的に色が統一され暗めであることから Activity 因子が最も低く渋い橋であると考えられる。

第四象限では Activity 因子が低く、Stability 因子が高い、橋梁 No.11(尾瀬古仲橋)や No.108(外野橋)などは、静的で丈夫で安定性があるといえる。このうち Activity 因子が一番低い No.108 は No.109 と同じく全体的に色が統一されており、暗い感じであることから、地味で静的であるという印象を受ける。

因子分析によると、構造形式と4因子の関係性はあまり見られなかったが、仮設場所と Modern 因子、Stability 因子などの各因子との関係性があることがわかった。

4. まとめ

本研究では、吊橋・斜張橋の橋梁画像を対象に、SD アンケート調査を行い、まずは各橋梁のイメージ特性を評価した。次に、アンケート結果を因子分析し、橋梁のイメージ構造が4因子に集約されることを示した。そして、橋梁の仮設場所がいくつかの因子と関係性があることがわかった。

参考文献

- 1) 土木学会, 橋 BRIDGES IN JAPAN, 1999~2004.
- 2) 勇・安岡, 橋梁景観のカラーイメージスケールに関する基礎的研究, 土木情報利用技術論文集, Vol.12, pp.21-32, 2003.
- 3) 勇・五百蔵, イメージアンケートによる橋梁景観の色彩調和判定に関する研究, 土木情報利用技術論文集, Vol.13, pp.75-86, 2004.

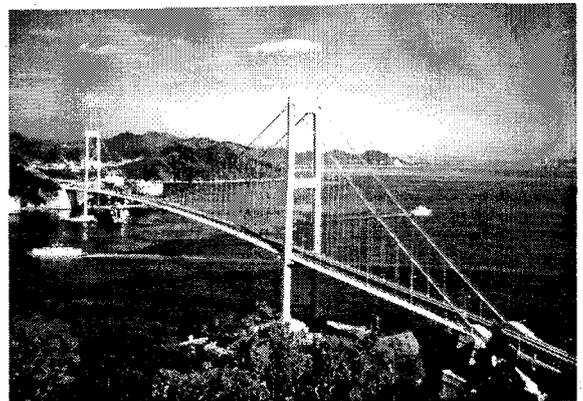


写真1 安芸灘大橋